

令和8年9月18日

青森市保健部青森市保健所生活衛生課長

食中毒の発生について

市内で食中毒が発生したので別添資料のとおりお知らせします。



【問合せ】 青森市保健部青森市保健所生活衛生課 担当：課長 倉内、主幹 横山

TEL：017-765-5284 FAX：017-765-5283

令和 8 年 9 月 1 8 日
保健部青森市保健所生活衛生課

食中毒の発生について

1 概要

- (1) 令和 8 年 9 月 1 6 日 (水) 午後 3 時 3 0 分頃、市内医療機関から市保健所に、「救急搬送されてきた患者が、毒キノコを喫食した可能性がある。」旨の連絡があった。
- (2) 調査の結果、発症者は 9 月 1 4 日 (月) に自ら採取した野生のキノコを、9 月 1 6 日 (水) の朝に自宅で調理・喫食し、その 2 時間後から嘔吐、めまい、意識障害を呈していたことが判明した。
- (3) 市保健所は、次のことから、本件はイボテングタケによる食中毒と断定した。
 - ① 発症者を診察した医師が食中毒と診断していること
 - ② 発症者が発症前に野生のキノコを採取し食べたと話していたこと
 - ③ 発症者が撮影した写真及び自宅にあった調理品の残品を専門家が鑑定した結果、イボテングタケ及びその調理品と判断されたこと
 - ④ 発症者の臨床症状がテングタケ属による食中毒症状と一致していること

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 2 発生日 | 令和 8 年 9 月 1 6 日 (水) |
| 3 喫食者数 | 1 名 |
| 4 発症者数 | 1 名 (7 0 歳代女性、現在入院中だが回復傾向にある) |
| 5 主な症状 | 嘔吐、めまい、意識障害 |
| 6 原因施設 | 家庭 |
| 7 原因食品 | イボテングタケ |
| 8 病因物質 | 植物性自然毒 |

【参考】

＜本市での食中毒発生状況＞（本件を含む。）

	発生件数	患者数
令和8年 1月～9月18日	2件	8名
令和7年 1月～12月	2件	30名
令和6年 1月～12月	1件	13名

＜本市でのキノコによる食中毒発生状況＞（本件を含む。）

年	発生日	種類	患者数
平成19年	9月19日	クサウラベニタケ	1名
平成20年	10月4日	カヤタケ属キノコ	3名
平成22年	10月11日	ツキヨタケ	2名
	10月11日	ツキヨタケ	5名
令和8年	9月16日	イボテングタケ	1名

＜市民への呼びかけをお願いします＞

毒キノコによる食中毒の発生を防止するため、以下のことに注意してください。

- ◎食用と確実に判断できないキノコは、『採らない』、『食べない』、『人にあげない』、『販売しない』こと。
- ◎キノコの鑑定には専門的な知識が必要です。キノコに詳しい方でも判断を間違えおそれがありますので十分に注意すること。
- ◎毎年、同じ時期に同じ場所に生えていても、食用に類似した毒キノコが混生していることがあるので十分注意すること。
- ◎見分け等に関する言い伝えは、根拠はないので信用しないこと。